

**平成31年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座・イベント+貸館+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	200,000	上期の実績値 97,783

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H27	H28	H29	H30	H31(上期)	H31(通期)
	来館者数(人)		337,586	364,170	360,152	361,473	354,606	173,628
貸し室稼働率(%)		39	43	43	42	41	40	
講座開催回数(回)		630	1,038	998	1,023	1,019	541	
講座参加者数(人)		18,879	42,795	43,623	45,435	46,119	20,460	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成29年度(2017)	平成30年度(2018)	平成31年度(2019)計画	平成31年度(2019)実績(上期)	
収入	使用料収入	51,880	50,937	51,880	25,863	
	事業収入	16,086	15,372	14,854	9,351	
	その他	182	156	124	48	
	指定管理委託料	124,326	123,839	123,577	59,407	
	①合計	192,474	190,304	190,435	94,669	
支出	維持管理	光熱水費	25,138	22,976	25,308	12,606
		清掃等委託料	25,317	25,766	27,031	11,881
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	7,664	6,843	5,650	826
	運営	人件費	41,452	42,923	42,882	19,120
		事業等経費	85,638	84,925	84,723	35,280
		その他	5,088	4,880	4,841	2,019
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	190,297	188,313	190,435	81,732		
純収支(①-②)		2,177	1,991	0	12,937	

		H26	H27	H28	H29	H30	H31(上期)
施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>	市の収入	249	267	394	228	154	30
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	127,672	269,744	125,707	129,013	126,696	59,631
	(内、指定管理委託料)	118,877	125,516	123,624	124,326	123,839	59,407
実質経費(歳出-歳入)		127,423	269,477	125,313	128,785	126,542	59,601

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	施設全体の老朽化がすすみ、設備の故障等も増える中、利用者の利便性と費用対効果のバランスを配慮しながら、大規模改修を見据え、臨機応変に対応している。	B	協定書・仕様書に基づき適切に施設管理が行われている。修繕も効果的に実施している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。AED講習を開催。	A	運営に適した職員配置となっており、研修等を活かして職員の資質向上にも取り組んでいる。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を配備。年に2回の消防訓練を行なっている。	B	連絡体制の構築・消防訓練の実施等、非常時に備えている。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	シニアや学生との連携企画を推進し、市民の参画と協働をベースにした学習事業の拡充に努めている。要望の多かった世界史の通年講座を新規開講。	A	利用者の声をサービス向上に結び付ける取り組みを行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の参画と協働をサポートする事業を積極的に展開している。	B	市民との協働等による事業展開が継続的に行われている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行なっている。	B	個人情報保護を遵守した書類等の管理が行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	各収入に増減はあるが、全体的に前年度の水準を維持している。	B	収支計画に沿って適正に運営されている。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	施設の維持・管理、サービスの提供など、協定書・仕様書に基づき適切に管理・運営が行われている。ひきつづき、利用者満足度のさらなる向上を図りたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成31年 4月 1日～令和元年 9月 30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	Q6.職員の接客態度はいかがですか？ ⇒ たいへん良い 44% 良い 42%	「たいへん良い」の評価をもっといただけるように、より良い接客を心掛けていきます。
	映画の上映会の際、ホールの空調が寒かった。	広いホール内の均一的な温度管理は困難であるため、プランケットの貸出や観客の様子をこまめにうかがいながら、温度の調整を行っていきます。
回答者数	338	多くの受講生に聴講いただく講義形式の講座については、その都度の質問形式の場合、講座の進行が遅る恐れがあるため、原則的に質疑応答の時間は、講義終了後をお願いしております。ご理解をお願いいたします。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置